

# 小石川高等学校 中等教育学校 ラグビー部

# 後援会会報

発行人  
後援会会长・川口明

Vol.11



4月6日、秩父宮ラグビー場での練習試合に臨んだ現役チーム。

## 10校ラグビーフェスティバルに初参加



# 「秩父宮」でのプレイは現役の力に

後援会会長・昭和42年卒 川口 明



会長も久しぶりに秩父宮で快走

4月6日、秩父宮ラグビー場で「10校フェスティバル」が開催されました。他校OBとの交流を図り後援会活動に生かす、との後援会幹事会の方針に基づき今回初めての参加でした。いちばん印象的だったのが現役高校生の試合でした。正直言つて試合内容は散々のものでした。現役の高校生があの秩父宮で試合をしたのです。現役の高校生にはこれを良い機会として、是非これからも頑張つて貰いたいと思います。

現役の試合、その後、若手OB、オールドOBの試合等が続けられ全ての試合の終了後に懇親会が開かれました。大泉高校OBの日比野さん、天王寺高校OBの青井さん等が挨拶する中、我々小石川高校のOBとしては、今年から東大の監督に就任された内田さんが、中締めの挨拶をされました。10校全てがいわゆる進学校で、他校の皆様とお話しする機会を得、文武両道とはこう言うことなのだ

とあらためて実感させられました。先日の春季大会は部員不足で棄権となりました。いよいよ小石川高校ラグビー部も危急存亡のときを迎えようとしております。上記のような交流は中々できるのもではありません。ラグビーをやっていたからこそできるものです。

幹事会では、現役高校生との交流が図れる企画を色々考えております。或いは後援会総会等の機会を見つけてどうか後援会の皆さんにおかれましては、このラグビー生活、ラグビー人生の良さを現役高校生にお話して頂だけたらと願っております。また、体の動く若手OBの方（動かなくとも気合だけのお年寄りでも結構です）は、グランドに足を運んで一緒に走って頂けないでしょうか。それらを通じて高校生はラグビーの良さを実感し、充実した人生を送ることができるでしょう。そして我々OBはいつまでも若い気持を保つこ

## CONTENTS

### ご挨拶

後援会会長・川口明（昭和42年卒）	3
-------------------	---

「10校フェスティバル20周年大会」報告 事務局長・南 高之（昭和45年卒）	4
---	---

小石川ラグビー部より キャプテン・田中遼平（3年） 部長・安部直樹（3年） マネージャー・西村明日美（3年） 卒業生から 顧問団より	7
---	---

### OBコラム

教師として 「ラグビーを教えたい」 信念をもって 松崎浩史（平成3年卒）	10
ゆかいな仲間 坪井孝頼（昭和31年卒）	11
丸山茂雄氏講演会	13
後援会からのお知らせ	14



# 全国公立高校ラグビー部OBの 集いに小石川が初参加！

「10校ラグビーフェスティバル20周年記念大会」報告

小石川ラグビー部後援会事務局 南 高之  
(昭和45年卒)

**4月6日、午前9時**  
**秩父宮のゲートが開く**

午前9時、秩父宮ラグビー場のゲートが開かれました。

「10校ラグビーフェスティバル20周年記念大会」の開催です。全国公

立高校のラグビー部OBが集い、毎年、春秋2回行われてきたフェスティバルに、昨年秋に小石川高校が加わり10校となりました。そして20周年を迎えるということから、ラガーマンの聖地である「秩父宮ラグビー場」で記念大会を開催できないかと、各校の代表が揃って日本ラグビー協会を訪問・要請し、実現しました。

また、最近の公立高校ラグビー部の部員減少に対して、ラグビーというスポーツをアピールする良い機会であることと、底辺を拡げる意味においても意義のあるイベントであることを願って開催されました。

10校とは、秋田県立秋田高校、東京都立大泉高校、新宿高校、戸山高校、日比谷高校、小石川高校、愛知県立旭丘高校、千種高校、大阪府立北野高校、天王寺高校という名門校の集まりです。

まさに空一面に広がる青空の下、まず、最初に、春の都大会を控えた都立高校現役チームによる練習試合が4試合行われました。現役部員が4試合行いました。

## ヤングOB、オールド

### OBも芝生の上を疾走

さて、現役のあとは、いよいよOBの試合です。ヤングOB(40歳未満)の試合から始まります。

スタンドは、既に、各校のOB・家族で大賑わい。北野、天王寺を除く各校はそれぞれ合同チームを組み、現役の試合とは違った迫力がOBの戦いには見られました。それは、「とにかくにも、あの秩父宮でやっているのだ」という想いからくるものでしょう。また、それは、当日参加したすべてのOB達にも「確かに伝わっていた想いでした。

ヤングOBの試合(3試合)のあとは、オールドOB(40歳以上)の試合です。参加各校で、合同チームを4チーム編成し、2試合を行いました。協会からの通達により、時間の都合上、1試合7分ほどのハーフゲームでした。昔取った杵柄というかとても真剣な、流刺としたプレーを披露しました。

小石川は、新宿、北野と、当日急遽参加の青山OBとの合同チームです。対するは、大泉、千種の合同チームでしたが、大泉の30歳代後半のメンバーがヤングOBチームに入りました。それに、オールドチームに参戦。年齢というハンディを背負つての戦い

## またグランドに立て ボールを追いかけよう

になりました。

それでも、我がチームは、歳70歳になる小平先輩を筆頭に、最初は、60代、50代の者から参戦し、健闘。たった7分間の試合でしたが、適当なタイミングで途中交代をしながら、全員が出場を果たしました。また、合同チームであるという違和感は、まったくありませんでした。

試合は、ヤング、オールド共に敗れてしましましたが、また、短い時間のプレーで不完全燃焼のままでしたが、それでも、久し振りにラグビーができたこと、ましてや、秩父宮のグランドでできたことに、皆、勝敗は度外視で、喜びの表情でいっぱいでした。

そして、同じチームで戦った新宿高校、北野高校のメンバーとも健闘を称え合い、「また一緒にやりましょう」と声を掛け合いました。

「よしつ！ラグビーが、まだまだ出来る。今後も、続けてやっていこう」と思ったOBが何人いたことでしょう。試合に出た人も、当日は見学、観戦だけだった人達も……。それは、とりもなおさず、今秋に開かれる秋の「10校ラグビーフェスティバル」が開かれました。

にとつて、秩父宮でプレーが出来るという意味、喜びがどこまで伝わったのか、自覚できたのかは定かではありませんが、きっと、いつの日にか「あのだ」と振り返る時があることでしょう。

現役チームは、陸上部や野球部からの助っ人(兼部部員)が半数近くを占めていることから、単独チームにもかかわらず、プレーに、また、メンタルな面においても迫力に欠けていました。もちろん、ボールをどうにか生かそう、繋ごうと一生懸命で、動いているようでした。が、残念ながら、2試合行つた結果、どちらも完敗でした。

今後、部員数減少の最前线に立っている我が校において、単独チームのままチームを存続できるのか、戸山・新宿高校(杉並・富士高校も交えた4校のチームであった)のように、合同チームで行くのか、大きな岐路にさしかかっています。

まず、公式試合に出るのは当たり前で、目標は、1試合でも多く、試合に勝つことであると思います。そのためならば、皆、つらい練習でも向かっていくモチベーションを継続できることであり、その結果、たまに勝ち、たまに負けるのです。

また、合同チームであるといふことで、目標は、1試合でも多く、試合に勝つことであると思います。そのためならば、皆、つらい練習でも向かっていくモチベーションを継続できることであり、その結果、たまに勝ち、たまに負けるのです。

現役チームは、陸上部や野球部からの助っ人(兼部部員)が半数近くを占めていることから、単独チームにもかかわらず、プレーに、また、メンタルな面においても迫力に欠けていました。もちろん、ボールをどうにか生かそう、繋ごうと一生懸命で、動いているようでした。が、残念ながら、2試合行つた結果、どちらも完敗でした。

今後、部員数減少の最前线に立っている我が校において、単独チームのままチームを存続できるのか、戸山・新宿高校(杉並・富士高校も交えた4校のチームであった)のように、合同チームで行くのか、大きな岐路にさしかかっています。

まず、公式試合に出るのは当たり前で、目標は、1試合でも多く、試合に勝つことであると思います。そのためならば、皆、つらい練習でも向かっていくモチベーションを継続できることであり、その結果、たまに勝ち、たまに負けるのです。

# 小石川ラグビー部より



2007年12月23日、新人戦・対成城高校戦後。

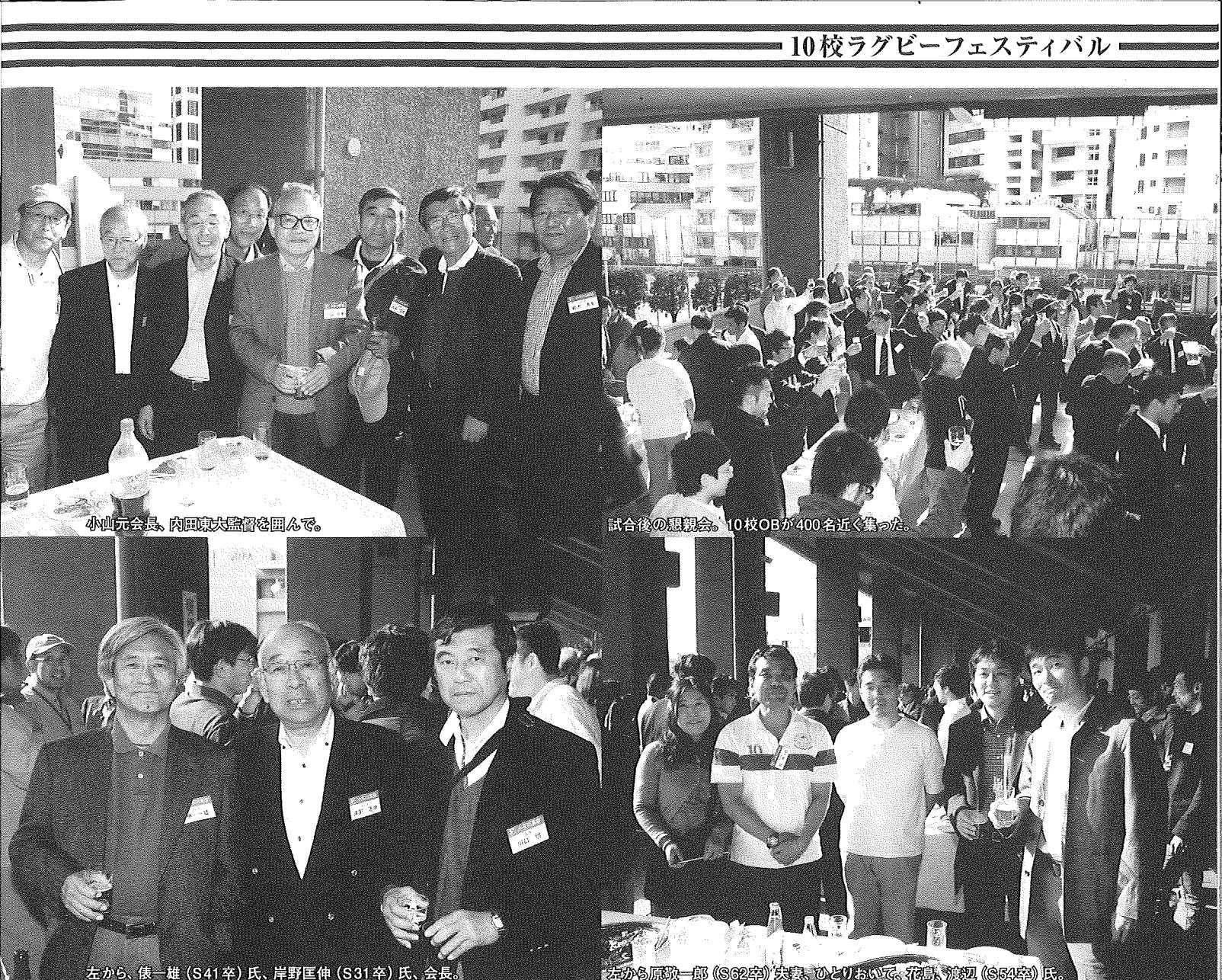
くみんなと話し合って単独で出ることに決めました。合同だと勝つことをまず優先しなくてはならなくなり、十分な基礎固めができなくなると思います。小石川の目標はあくまで秋大会なのでこの時期はしっかりとした基礎固めをしたほうがいいと考えました。そしてなにより合同を組んで小石川から4、5人

基礎固めをしています

キヤブテン  
田中遼平

## ●現役部員 より

新チーム発足にともない、現役部員、卒業生、顧問の先生から原稿を、3月にいただきました。原稿での学年は現在は1年進級しています。会報発行を「10校フェスティバル後と遅らせたため、春季大会前的内容となっていることをお含み下さい。



左から、俵一雄（S41卒）氏、岸野匡伸（S31卒）氏、会長。

左から原敬一郎(S62卒)夫婦、ひとりおいで、花島、渡辺(S54卒)

バル」(会場は未定)にこそつて参加するというわけなのですが……。

ついては、今年6月のラグビー部後援会総会の日に、OBがこそつてグランドに立つよう、「OBハッピーデー」企画をより推進していこうと思つた次第です。

秩父宮ラグビー場メインスタンド下の外部歩廊（プラットフォーム）にて、懇親会（アフターマッチ・ファンクション）が開催されました。

10校の関係者が一堂に会し、400名近くの人で会場は埋め尽くされま

For ever !

しかだせなくなったりして15人のなかで小石川ラグビー部が4、5人とかになるんだったら、戦力的に落ちてもいいからなんとか人数をそろえて単独で出たいと思いました。そしてみんなの努力のおかげでどうにか15人集まり単独で出ることができました。正規部員ではない新人たちにはとりあえず冬の大会まで出してくれるということになっていましたが冬が終わっても春秋と続けてもらえるように全力でお願いするつもりです。そのためには冬の大会でラグビーの楽しさを知つてもらうことが必要です。ラグビーの楽しさは口で話すよりも実際に試合に出たほうがわかると思います。なので、冬大会の一番の目標は新人にラグビーの楽しさを知つてもらうことです。冬大会以降のことは、正直な話、今はあまり考えていません。何人新人が残ってくれるかわからないし今は部員集めで忙しいからです。冬以降のことはそのあとみんなで話し合つて決めたいと思っていました。新チームになつてみんなで決めた目標があります。それは「走る」ときると考えました。特にディフェンスです。まともにタックルにいけるのは15人の中で半分くらいなので自分たちがタックルに入れない人たちの分も走つてタックルにいかなくなりません。練習でも10メートルダッシュ、20メートルダッシュやランパスやタイヤ引きで基礎体力をつけています。オフェンスでは走ることも重要ですがみんなが積極的にプレイすることが重要だと考えました。そのため日にごろからタッチフットなどの練習では積極的にプレーできるようにみんなで話し合い、楽しみながらやっています。

日々の練習では走ることや積極的にプレイすることのほかにハンドリングや下半身中心としたフィットнес強化に重点を置いています。ハンドリングができないとボールが外までも回らなくなりつまらない試合になってしまいます。下半身強化は体感を強くできるし、走ることにもつながります。首筋の強化もやつています首をきたえれば首の怪我を防ぐこともでき、首が太いと強そうに見えるので重要です。このように日々みんな精一杯がんばっているのでOBのみなさんどうか応援よろしくお願いします。

きると考えました。特にディフェンスです。まともにタックルにいけるのは15人の中で半分くらいなので自分たちがタックルに入れないとちの分も走ってタックルにいかなく

てはなりません。練習でも10メートルダッシュ、20メートルダッシュやランパスやタイヤ引きで基礎体力をつけています。オフエンスでは走るこ

とも重要ですがみんなが積極的にプレイすることが重要だと考えました。そのために日ごろからタッチフットなどの練習では積極的にプレイできるようになんなで話し合い、楽しみながらやっています。

日々の練習では走ることや積極的にプレイすることのほかにハンドリングや下半身中心としたフィットネス強化に重点を置いています。ハンド

ドリングができないとボールが外まで回らなくなりつまらない試合になってしまいます。下半身強化は体感を強くできるし、走ることにもつ

ながります。首筋の強化もやつて、ます首をきたえれば首の怪我を防ぐこともでき、首が太いと強そうに見えるので重要です。このように

日々みんな精一杯がんばっているので  
OBのみなさんどうか応援よろしくお願いします。

その後、各校は、三々五々、それぞれの2次会会場へと移動したわけです。



# ●OBコラム

好評大河連載企画！「OBリレー エッセイ」。今回は、都立東高校でラグビー部顧問としてがんばっている松崎さんです。現在の都立高校のラグビー部のかかえる問題と格闘する内容は、熱血先生そのものです。

## 教師として

### 「ラグビーを教えたい」

#### 信念をもつて

平成3年卒

松崎浩史

私は、ようやく大好きなラグビーを教えることができる普通高校に3年ほど前（2005年4月）に異動できました。ラグビーの会場校としてよく使われる都立東高校です。今、ラグビーを教えながら、保健体育科を担当しているくらいの気持ちでいます。高校生にラグビーを教えられる環境に立つことができ、土日や祝日もラグビー漬けの毎日です。それまでは大学卒業後、知的障害児の通う学校に3年間、中学で不登校だった生徒や他でドロップアウトしてきた生徒などが多く通う定時制高校で6年間勤めてきました。知的発達に遅れのある子ども嫌がっていた存在だったようでした。そうだったつけ？と反省してます。でもよく考えてみると、小石川では代々先輩らが、真剣にラグビーを高校生に伝え、教え込んでいたんだなあと思います。

それから一浪してラグビーと体育の勉強のため筑波大学に進学してからは、ラグビーの魅力にどんどん取り憑かれていきました。プレーを高校生に伝え、教え込んでいたことが印象的でした。いろんなO.Bさんがいて、繩の繋がりを無意識のうちに感じ取っていました。そういう私自身も先日の60周年の飲み会の席で、後輩たちから、かなり嫌がっていた存在だったようでした。そうだったつけ？と反省してます。でもよく考えてみると、小石川では代々先輩らが、真剣にラグビーを高校生に伝え、教え込んでいたんだなあと思います。

膝の靭帯を断裂してしまい、プレーはほとんどできなくなりましたが、リハビリの実践も含め、戦術や戦略を練ることや、練習方法のアイデアを出すなど、必死になつてやってきました。そうした積み重ねが、今になつてようやく活かされるようになりました。

東高校では、着任早々、また来た徒を追いかけ回し、ラグビー部に勧誘し続けています。授業でも男女徒らも、タグラグビーをやった女子生徒たちも、「やつてみると意外と面白かった」と言つてくれます。けれども、なかなか思うように部員は集まりません。中堅校の学校の雰囲気として、本気になつて何かに打ち込もうとする生徒が少ないよう気の低迷や、ラグビーに対するマニアスイメージばかりが先行している気がしてなりません。「なんで、ラグビーなんかしなきゃいけないの？」と思えし、「ちやがちやでわかんねえし、あと汚いじやん」と、サクッと言われてしまします。昔からそう言はれるべきスポーツですが、ラグビーはやるべきスポーツだと思っています。誰かにムリヤリ勧められたり、やらされなければ、決してやりはじめる

私は、ようやく大好きなラグビーを教えることができる普通高校に3年ほど前（2005年4月）に異動できました。ラグビーの会場校としてよく使われる都立東高校です。今、ラグビーを教えながら、保健体育科を担当しているくらいの気持ちでいます。高校生にラグビーを教えられる環境に立つことができ、土日や祝日もラグビー漬けの毎日です。それまでは大学卒業後、知的障害児の通う学校に3年間、中学で不登校だった生徒や他でドロップアウトしてきた生徒などが多く通う定時制高校で6年間勤めてきました。知的発達に遅れのある子ども嫌がっていた存在だったようでした。そうだったつけ？と反省してます。でもよく考えてみると、小石川では代々先輩らが、真剣にラグビーを高校生に伝え、教え込んでいたんだなあと思います。

膝の靭帯を断裂してしまい、プレーはほとんどできなくなりましたが、リハビリの実践も含め、戦術や戦略を練ることや、練習方法のアイデアを出すなど、必死になつてやってきました。そうした積み重ねが、今になつてようやく活かされるようになりました。

東高校では、着任早々、また来た徒を追いかけ回し、ラグビー部に勧誘し続けています。授業でも男女徒らも、タグラグビーをやった女子生徒たちも、「やつてみると意外と面白かった」と言つてくれます。けれども、なかなか思うように部員は集まりません。中堅校の学校の雰囲気として、本気になつて何かに打ち込もうとする生徒が少ないよう気の低迷や、ラグビーに対するマニアスイメージばかりが先行している気がしてなりません。「なんで、ラグビーなんかしなきゃいけないの？」と思えし、「ちやがちやでわかんねえし、あと汚いじやん」と、サクッと言われてしまします。昔からそう言はれるべきスポーツですが、ラグビーはやるべきスポーツだと思っています。誰かにムリヤリ勧められたり、やらされなければ、決してやりはじめる

きっかけとなる言葉をかけられるようになれたらしいなと思っています。

小石川では、頭の片隅にラグビーのことがちらつきながら、なぜかバスケ部に入部してました。しかし、ボール拾いばかりに嫌気がさして、同じ中学のバレーボール出身である野本先輩を頼ってグランドへ行つたところ、翌日にはラグビー部員になつてました。しかも、1ヶ月後からいました。

京都独自の教員公募制度を使ってある工業高校に異動しようとしたところ、なぜか今に至つています。

私は、中学ではバレーボールと陸上競技（砲丸投げ）をしていました。



平成3年卒の部員たち。一年28名(女子マネージャー含む)は史上最高の部員数だ。

## ゆかいな仲間

昭和31年卒 坪井孝頼

生前、日本ラグビー協会理事とゆかいな仲間といつてすぐに頭に

して、トップ・リーグの創設に努力され、日本ラグビーの改革と発展に尽力された坪井孝頼さんの原稿を掲載します。この原稿は雑誌「財界」に掲載されたものです。

生前、日本ラグビー協会理事として、トップ・リーグの創設に努力され、日本ラグビーの改革と発展に尽力された坪井孝頼さんの原稿を掲載します。この原稿は雑誌「財界」に掲載されたものです。

生前、日本ラグビー協会理事として、トップ・リーグの創設に努力され、日本ラグビーの改革と発展に尽力された坪井孝頼さんの原稿を掲載します。この原稿は雑誌「財界」に掲載されたものです。

生前、日本ラグビー協会理事として、トップ・リーグの創設に努力され、日本ラグビーの改革と発展に尽力された坪井孝頼さんの原稿を掲載します。この原稿は雑誌「財界」に掲載されたものです。

生前、日本ラグビー協会理事として、トップ・リーグの創設に努力され、日本ラグビーの改革と発展に尽力された坪井孝頼さんの原稿を掲載します。この原稿は雑誌「財界」に掲載されたものです。

生前、日本ラグビー協会理事として、トップ・リーグの創設に努力され、日本ラグビーの改革と発展に尽力された坪井孝頼さんの原稿を掲載します。この原稿は雑誌「財界」に掲載されたものです。

生前、日本ラグビー協会理事として、トップ・リーグの創設に努力され、日本ラグビーの改革と発展に尽力された坪井孝頼さんの原稿を掲載します。この原稿は雑誌「財界」に掲載されたものです。

生前、日本ラグビー協会理事として、トップ・リーグの創設に努力され、日本ラグビーの改革と発展に尽力された坪井孝頼さんの原稿を掲載します。この原稿は雑誌「財界」に掲載されたものです。

生前、日本ラグビー協会理事として、トップ・リーグの創設に努力され、日本ラグビーの改革と発展に尽力された坪井孝頼さんの原稿を掲載します。この原稿は雑誌「財界」に掲載されたものです。



# 後援会からのお知らせ

◎小石川ラグビー部後援会  
2008年総会・懇親会開催のお知らせ

◎会費納入のお願い

日 時： 6月21日（土）18時30分～19時  
19時～20時30分 総会（受付：18時より）  
場 所： 創作料理 「卯 -うさぎ-」  
住 所： 東京都目黒区駒場2丁目14-1  
TEL 03-3465-7771  
卯のホームページ： <http://www.usa-gi.com/>  
アクセス： 京王電鉄井の頭線『駒場東大前駅』西口より徒歩2分  
懇親会会費： 5000円（税込み）立食パーティ、飲み放題

今年度は、東大ラグビー部のご好意により、試合を東大駒場ラグビーグラウンドで行います。現役対OB戦、40歳以上のオールドOB戦（7分ハーフ）も企画しています。ぜひ、ご参加ください。その後、駒場東大前駅近くの「卯（うさぎ）」にて、総会・懇親会を開催いたします。

試合…東大駒場ラグビーグラウンドにて  
16時から  
  
1. 年会費は後援会規約第6条により社会人は5000円、学生は3000円となります。  
2. 会費・寄付の納入方法は以下のとおりです。

(1)郵便局 前号会報同封の振込用紙（赤色）をご利用下さい。手数料は不要です。

※振込用紙を紛失してしまった方は、最寄りの郵便局にて振込用紙（赤色）を取得し、必要事項を連絡欄に記入の上、ご送金下さい！

※必要事項＝何年度の会費・寄付かを記入、現住所・連絡先・メールアドレス、卒業年・氏名を記入。

会費及び寄付金は、それぞれの金額も記入して下さい。

◎杉田安啓氏が逝去

昭和27年卒・杉田安啓氏が平成20年4月8日逝去されました。生前、記念誌『会報』の印刷でたいへんお世話になり、多大なご協力もいただいておりました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

（H19卒）村田伸一（S48卒）

平成19年度（平成19年7月1日から平成20年6月30日）の会費納入状況は、4月末集計で約40万円と、たいへんさびしい数字です。まだ支払われていないOBの皆様、ぜひご協力をお願いいたします。

（年会費および寄付金の振込方法）



2月某日、練習後の現役部員たち。

## ●編集後記●

春季大会の1週間前、「10校フェスティバル」に参加して秩父宮で練習試合。現役にとって最高のスタートになるかと思われましたが、助っ人部員の不足で、春季大会には参加することができませんでした。現在、新1年生の部員が8名入部して、ギリギリ15名の小石川ラグビー部。これまで以上に、後援会からラグビー部の情報を発信しなければならないと思っています。会員の皆様のご協力もお願いいたします。

（広報部）石黒将也・原田雅章・橋本匠



平成20年4月6日、秩父宮ラグビー場で開催された「10校ラグビーフェスティバル」にて（最上段左上の写真は、3月29日東大駒場ラグビー場で行われたOBチーム練習）。